

令和5年度モニタリングシート

【施設名等】

施設名	大洲市立大洲学園	位置	大洲市市木1005番地1
指定管理者名	社会福祉法人大洲育成園	所管課	社会福祉課 Tel0893-24-1758

【施設の概要】

設置年月日	昭和60年4月1日	構造	本館 鉄筋コンクリート2階建 指導棟 鉄筋コンクリート平屋建 作業棟 鉄骨スレート葺平屋建
設置目的	障がい者がその有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障害福祉サービスその他の支援を行い、もって福祉の増進を図る。		
施設機能	第1部…(定員)生活介護40人 施設入所支援40人 第2部…(定員)生活介護30人 施設入所支援30人		
利用料金等	大洲市立大洲学園条例第9条及び 大洲市立大洲学園条例施行規則第2条のとおり (所得に応じた負担上限月額及び食事の提供に要する費用等の実費)		
開館・閉館	年中無休		
指定管理業務内容	障害者総合支援法に規定する指定障害福祉サービスの提供 (生活介護サービス、施設入所支援サービス)		
施設管理体制	施設長1名、主任指導員1名、サービス管理責任者2名、生活支援員26名、 看護師2名、管理栄養士1名、事務員1名、嘱託医2名 <令和6年3月31日時点>		

【施設利用者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
R5年度	1,740	1,798	1,732	1,798	1,798	1,703	1,749
R4年度	1,815	1,874	1,830	1,872	1,841	1,770	1,829
比較	△75	△76	△98	△74	△43	△67	△80
	11月	12月	1月	2月	3月	計	
R5年度	1,710	1,767	1,765	1,609	1,713	20,882	
R4年度	1,770	1,829	1,829	1,639	1,813	21,711	
比較	△60	△62	△64	△30	△100	△829	

【指定管理者としての収入・支出(決算)】

収入内訳	収入金額	支出内訳	支出金額
指定管理料	0	人件費	178,402,075
障害福祉サービス事業収入	226,743,662	事業費	41,757,460
利用料金	37,172,884	事務費	41,080,945
受取利息配当金収入	860	固定資産取得支出	167,090
その他	46,615	積立資産支出	1,290,126
積立資産取崩収入	1,290,126		
合計	265,254,147	合計	262,697,696

【サービス向上に向けた取り組み】

R5年度	<p>感染防止や衛生面に留意し、夜市・盆踊り大会が3年ぶりに開催できたこと、また、日中活動班別でのバス遠足など、充実した各種活動が実施できた。食事については、行事食やデリバリーを活用して、利用者の満足度を高める工夫を実践できた。</p> <p>利用者が快適に過ごせることができるよう、2階男性トイレにシャワーを設置した。</p> <p>障がいや生活状況等を詳細にモニタリングし、利用者の要望等を把握した上で、関係機関と連携し、利用者1名を就労事業所に繋げる(転所)ことが出来た。</p> <p>福祉職として専門性を高めている職員に対して正規職員登用試験の実施、また、年次有給休暇の取得強化月間を設けるなど、処遇改善の実施とともに、働きやすい職場環境の整備に努めた。</p>
R4年度	<p>新たに虐待防止・身体拘束適正化委員会を設置し、年間計画に基づき研修を実施した。</p> <p>仕様書に基づき、大洲学園版の支援マニュアルの作成を行った。マニュアルには、勤務別で想定されるリスク、安全管理・緊急対応等を盛り込み、統一的な支援及びより質の高いサービスの提供を目指し、冊子を全職員へ配付した。</p> <p>恒例の夜市・盆踊り大会が、コロナ禍により中止したことに伴い、代替行事として、ウォークラリー大会や保護者会の支援による花火の打上げを実施した。</p> <p>利用者の社会参加促進を図るため、愛媛県が推進する「愛顔 e スポーツモデル施設」に参画し、ゲーム機本体を購入した。また、食品に対する品質や安全、味の向上に寄与する目的で、プラスチック(急速冷却を行う調理機械)を設置した。</p> <p>職場への定着率を高め、より質の高いサービスを提供できるよう職員の処遇を改善した。</p>

【利用者から要望と対応状況】

利用者からの苦情・要望等	利用者からの苦情・要望への対応
<ul style="list-style-type: none"> ・サービス相談日の開催3回(9月、1月、3月) ・利用者会議の開催 12回(4月～3月)の毎月 …「生活」、「食事」、「行事」などについて、利用者の意見聴取をする機会の場を提供し、要望等を聞くことができた。 ・利用者対象の満足度調査の実施(1月) ・苦情箱の設置 苦情・要望なし 	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情0件、要望・雑談21件。 ・満足度調査等で出た要望は、食事に関することや外出に関する内容が多かった。食事メニュー等の嗜好においては、給食業務委託業者と情報共有し、バランスの取れた食事の提供に努め、希望している行事においては、各種イベントを開催の上、概ね対応できた。

【指定管理者の自己検証】

<ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者・職員共に楽しみにしていた夜市盆踊り大会の開催が3年ぶりに開催できたことは、大変喜ばしいことであった。また、利用者の嗜好に合わせた日中活動班別レクリエーション(バス遠足)、クリスマス大会の実施も利用者から好評であった。今後は、県外への宿泊旅行を検討し、生活の質の更なる向上に繋げていきたい。 2. 廊下に見守りカメラを導入したことや、男性トイレにシャワー設備を設置したことなど、施設内それぞれの活動場所において点検を実施し、利用者の安全・安心な生活環境整備の充実が図れた。 3. 家族等からの要望でもある大洲学園の建替えを含む今後の運営方針について、市社会福祉課から説明・回答が得られたことは、大きな成果であった。今後も保護者・市と連携して、事業を推進していきたい。 4. 施設防災計画等に基づき、災害訓練を実施しているが、利用者に必要なサービスを継続的に提供できる体制を構築するため、新たにBCP(業務継続計画)を策定した。今後は、BCP(業務継続計画)に係る訓練・研修も実施していきたい。 5. 定期発行する広報誌「ふれあいだより」や社会福祉法人大洲育成園HPを通して適時情報の発信ができた。また、専門学校生(実習)の受け入れも行うことができ、今後も情報公開や地域・関係機関との連携に努めていきたい。
--

【施設所管課の検証・評価】

<p>夜市・盆踊り大会の再開や充実した各種活動等により、利用者の満足度が高められており、また、新しい機器の導入や新たな設備の設置等により、利用者の安全・安心で快適な生活環境が提供されている。</p> <p>施設防災計画等に基づいた災害訓練は元より、新たに策定されたBCP(業務継続計画)についても、訓練の実施や職員の研修に努めていきたい。</p> <p>広報誌やHPを活用し、日々の取組を情報発信するなど、開かれた施設運営が行われており、今後更なるサービスの向上を期待している。</p>
